

坂本一成

水無瀬の町家 1970

撮影 新建築社写真部
写真提供 DAAS

住宅 — 日常の詩学展

2012年 4月 27日(金) - 5月 20日(日)

10:00 ~ 18:00 (入館は 17:30 まで)

※休館日 5月1日(火)・7日(月)・14日(月)

[入場料]
一般 : 1,100円 (前売り 1,000円)
学生 : 500円

※次の方は無料です
・中学生以下の方
・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を
ご持参の方ならびにその付添の方1名まで

[入場券発売所]
山陽新聞社サービスセンター、インディスク (天満屋倉敷店4階)
イープラス、Famiポート

会期中も前売券を販売しております

岡山市デジタルミュージアム
4階企画展示室

主催 | 坂本一成建築展岡山実行委員会 岡山市デジタルミュージアム

共催 | 東京工業大学博物館

助成 | (財) 福武教育文化振興財団
(財) マルセンスポーツ・文化振興財団
(社) 日本建築学会中国支部

協賛 | 建築資料研究社 / 日建学院、総合資格学院 / 株式会社総合資格
大光電機(株)、ハウジング山陽(株)、岡山ガス(株)
(株)LIXIL、トナミ運輸(株)

後援 | (社) 岡山県建築士会、(社) 岡山県建築士事務所協会
岡山建築設計クラブ、(社) 日本建築学会、(社) 日本建築家協会
(社) インテリアデザイナー協会、日本デザイン学会
日本インテリア学会、NHK岡山放送局、山陽新聞社
実行委員会構成団体 | (社) 日本建築学会中国支部岡山支所、(社) 岡山県建築士会
(社) 岡山県建築士事務所協会
(社) 日本建築家協会中国支部岡山建築家の会
岡山建築設計クラブ

ありそうでない空間 住宅—日常の詩学 坂本一成

建物の空間をさまざまな枠組みから自由にしたいと思ってきた。
まだ見ぬ自由な空間を求めてきた。
こうした空間は、私たちの身体や精神をさまざまな拘束から解放させ、
世界に通じることを可能にする。
その空間は、特別なところ、特別なときにあるのではなく、
日常のごく当たり前の所、持続する普通の時間のなかにある、と思ってきた。

身の回りの空間は、私たちの身体と一体化して意識されることのない
環境化した場を形成し、特に対象化されることのない
何でもない空間となっている。
こうした日常化した空間は、無意識のうちに私たちの身体や精神を沿わせ、
従わせる枠組みを形成している。
この枠組みを形成している日常の隙間の奥に、
もう一つの日常が垣間見られないか。
普通の、当たり前の日常の奥に、まだ見ぬ、
更なる自由な世界がある気がする。

特別でなく、極端でもない、何でもないオーディナリーな事物の配列・構成に、
またこれらの構成要素の関係に、更にそれらの組み換えに、
もう一つの日常へつなげる修辭としての詩学がある。
この詩学のなか、日常の空間が世界と関わる方法が見いだせないか。
新しい空間の構成に、日常の枠組みを相対化あるいは解体する
新たな世界があらわれないだろうか。

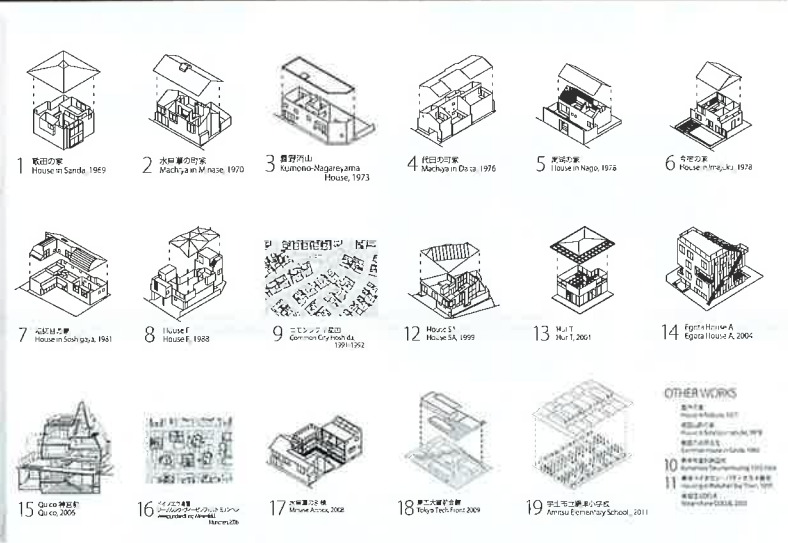
こうした期待をもって、最も日常的な空間である住宅に
もう一つの日常を獲得することで、自由な空間としての建築を求めてきた。



水無瀬の町家 1970



水無瀬の町家 1970



記念講演会

講師 坂本一成氏
日時 5月3日(木) 14:00 ~ 16:00 (開場は20分前)
会場 岡山市デジタルミュージアム 4階講義室
参加費 無料 (先着80名)

ギャラリートーク

下記講師により作品解説を会場にて行います。各日 14:00 から観覧券をお持ちの上、入場下さい。

- ① 講師 岡河 貢 (建築家・広島大学准教授)
日時 4月29日(日)、5月13日(日) 各日 14:00 ~
- ② 講師 山田 孝延 (建築家・岡山県立大学名誉教授)
日時 5月6日(日)、5月20日(日) 各日 14:00 ~

会場 岡山市デジタルミュージアム 4階企画展示室内
参加費 無料。ただし入場チケットの半券(当日のみ有効)が必要です。



水無瀬の町家 1970



水無瀬の町家 1970



岡山市デジタルミュージアム 4階企画展示室

JR 岡山駅から東西連絡通路で直結。
徒歩3分。
リットシティビル南棟4・5階
専用駐車場、契約駐車場はございません。

【お問い合わせ】
〒700-0024
岡山市北区駅元町15-1
TEL: 086-898-3000
<http://www.city.okayama.jp/okayama-city-museum>